



平成 23 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 テクノホライゾン・ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 竹内 清
(JASDAQ・コード 6629)

問合せ先
役職・氏名 総務部長 加藤 靖博
電話 052-823-8551

中期経営計画の見直しについて

当社は、平成22年5月20日に2010年度（平成23年3月期）を初年度とするテクノホライゾングループ中期経営計画（以下、「本中期計画」という。）を公表しておりますが（修正：平成22年11月25日）、経営環境の著しい変化を踏まえ、本中期計画の戦略の点検と目標数値の見直しを行いましたのでお知らせいたします。

記

1. 修正の理由

当社グループでは、現在、本中期計画を実行しておりますが、本日公表の「平成 23 年 3 月期 決算短信 [日本基準] (連結)」にて開示しましたとおり、平成 23 年 3 月期におきましては、初年度グループ数値目標を達成することができました。

しかしながら、本中期計画策定後に進んだ急激な円高が、海外販売比率の高い当社グループに与える影響を考慮し、2011 年度（平成 24 年 3 月期）及び 2012 年度（平成 25 年 3 月期）の計画の見直しを実施いたしました。

2. 今後の経営重点施策

本中期計画におきましては、「新事業の創出」と「グローバル化」を戦略の柱として、「健全な企業成長と企業価値の着実な向上」を目指すことをコンセプトとしております。この基本方針に変更はありませんが、経営環境の変動を踏まえ、特に以下の点に注力した経営を進めてまいります。

(1) 書画カメラ単品販売からクラスルームソリューション（CRS）への展開

光学事業の主力製品である書画カメラの最大市場は米国初等教育市場ですが、市場が成熟し成長が鈍化してまいりました。この状況に適切に対応するために、当社グループは、書画カメラと関連するクラスルームソリューション（CRS）機器の開発並びにソリューション提案を積極的に推し進めます。

「クラスルームソリューション（CRS）」とは「授業をする先生を手助けする仕組み」のことです。当社グループが持つノウハウ・既存販路・知名度の強みを最大限活用し、より効果的な教育の実現に貢献できるよう、現場ニーズに合致した CRS 機器の開発、普及に取り組んでまいります。

(2) グローバル化の推進強化

① 電子事業の海外マーケット進出：

従来はほぼ国内市場のみでビジネスを展開しておりました電子事業ですが、本年 1 月に中国江蘇省蘇州市に FA 関連機器等の開発・製造・販売を行なうため、新会社を設

立し、グローバル化の第一歩を踏み出しました。人件費の高騰と人手不足を背景に、中国製造現場でのFA（工場自動化設備）投資が本格化していくなか、当社グループが永年培ってきた産業機械用制御技術を活用し、中国製造業市場の拡大していくニーズに対応してまいります。

② 光学事業の更なるグローバル化推進：

光学事業では、従来販売の中心であった欧米市場に加え、アジア新興国需要の開拓を目的に中国・インドに販売会社等を設立し、グローバルな拠点網を整備、拡大してまいりました。海外製造拠点（中国・タイ）強化と合わせ迅速な行動により、更なるグローバル化を推し進めます。

(3) オプト・エレクトロニクス技術を活かした新規事業の創出、新製品の投入

当社グループの特長は、オプトロニクス（光学）とエレクトロニクス（電子）の両面に強みを持っている事業グループであるという点だと考えております。この強みを最大限活かし、オプト・エレクトロニクス事業でのシナジーを強化すべく、グループ会社間共同での研究開発活動等を積極的に進めております。

また、時代の変化に俊敏に対応していくために当社グループ内での再編も積極的に進めてまいります。

3. グループ数値目標

現在の損益状況及び経営環境を考慮し、2011年度及び2012年度のグループ数値目標を以下のとおり見直いたします。

【当初計画】

	2009年実績	2010年実績	2011年	2012年
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	34,581	46,640	49,000	52,000
営業利益	630	1,297	1,350	2,000
営業利益率	1.8%	2.8%	2.8%	3.8%
経常利益	704	1,166	1,300	1,900
当期純利益	267	909	700	1,100
ROE	3.7%	10.8%	7.3%	10.1%

(注1) 当社は、2010年4月1日に株式会社タイテックと株式会社エルモ社が株式移転することにより、共同持株会社として設立されました。従いまして、2009年実績数値は従前の連結親会社である株式会社タイテック2010年3月期連結実績数値を記載しております。

(注2) 2009年実績数値に含まれる株式会社SUWAオプトロニクスの実績数値は2カ月分のみです。

(注3) 2010年実績数値には、特別利益として負ののれん償却額380百万円が含まれております。

【修正計画】

	2009年実績	2010年実績	2011年	2012年
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	34,581	46,640	49,000	52,000
営業利益	630	1,297	740	1,340
営業利益率	1.8%	2.8%	1.5%	2.6%
経常利益	704	1,166	600	1,200
当期純利益	267	909	350	700
ROE	3.7%	10.8%	3.7%	7.1%

4. 追加資料

本件プレゼンテーション資料に関しましては、当社HP(<http://www.technohorizon.co.jp/>)にてご確認ください。

※ 本資料記載の予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報をもとに、当社が計画・予想したものであります。実際の業績などは、様々な要因によって予想数値とは異なる場合があります。

以上